生活科　第１学年　坂町立坂小学校　指導者　舞　幸江

単元名

坂の秋　みんなでたのしくあそんじゃお！～ぼく，わたしは〇〇マイスター～

本単元で育成する資質・能力　チャレンジする力　表現する力　協力・貢献する力

１　日時　令和３年　11 月 12 日（金）　第５校時

２　学年　第１学年１組　男子１３名　女子１９名　計３２名

３　単元について

（１）単元観

本単元「坂の秋　みんなでたのしくあそんじゃお！－ぼく，わたしは〇〇マイスター」は，小学校学習指導要領第２章第５節生活における内容「(６) 自然や物を使った遊び」及び「(８) 生活や出来事の伝え合い」を関連付けて扱い，２つの小単元で構成した。

前単元では，児童は身近にある秋の自然を観察する活動を行い，自然の様子や季節の変化に気付き，木の葉や枝，実等を拾う様子が見られた。本単元では，自分たちが拾ってきた秋の自然などを利用して遊びや遊びに使う物を工夫してつくるとともに，みみょう保育園の園児との交流活動を行い，園児と一緒に遊ぶことを通して，さらなる試行錯誤を行ったり，園児の立場を気にかけ相手に伝わるような内容や方法を決めたりする。これらにより，児童は園児と楽しみながら，進んで触れ合い交流しようとすることが期待される。

みみょう保育園の園児も秋の自然や身近な物を使った遊びを行っており，互いの思いや願いも含めて交流することで，感情も含めた双方向のやりとりがなされると考える。また，園児のことを想像し，伝える内容や方法を考えることで，相手意識や目的意識を明確にもって進んで触れ合い交流しようとすると考える。本単元では，これらを通して，園児と一緒に遊びを楽しみ，関わるよさや楽しさを実感し，達成感や成就感を味わうことができると考える。

（２）児童観

本学級の児童は，好奇心旺盛である。初めて知ったことや，興味をもったことに対して「もっと知りたい。」「～したらどうなるんだろう。」という思いをもち，その思いを自分なりに考えたり，周りの人に発信したりする児童がいる。友だちの活動に刺激を受けて，やってみようと行動に移す児童や学習したことを誰かに伝えたいという思いをもったりする児童も増えてきた。そこで，国語科「おおきなかぶ」の音読発表会に先生方を招待し行った。10 月には，これまでに学習した生活科や図画工作科の活動を年長児と一緒に行い，誰かのために活動を準備したり，一緒に活動したりすることの心地よさを感じる児童もいた。

２学期に行った秋を見付ける活動では，校庭や周辺の公園，山で見付けた色づいた葉やどんぐりなどの木の実，枝から四季の変化を感じると同時に，それらを使って遊びたいという思いをもった。また，見付けた秋で年長児と一緒に遊びたいという思いももっている。

「やってみたい。」「もっとこうしてみたい。」という思いや願いをもち，積極的に活動に取り組める児童は増えてきたが，その思いを全体で表現することが苦手な児童もいる。

（３）指導観

〇一人一人の思いや願いを生かした多様な遊びができる学習環境を整える。児童が自分たちで集めてきた身近な自然にある物や身近にある物を十分に用意しておくとともに，十分な活動時間も確保し，繰り返し試行錯誤ができる環境を保障する。

〇遊びや遊びに使う物を工夫してつくる際には，児童の試行錯誤の様子を捉えて評価するとともに，「よ～く見たら」「比べて比べて」「試しちゃうよ」「こうなるんじゃない？」などをカードにしておき，児童がカードを見ながら言葉で表現することで，工夫の視点の参考となるようにする。

〇気付きを自覚したり次時への見通しをもったりできるように，話したり書いたりして活動を振返りまとめる時間を設定する。互いの活動について紹介し合い，試行錯誤の視点を広げたり焦点化したりできるようにする。

〇相手のことや相手の伝えたいと考えていることを理解することのよさや楽しさが実感できるように，交流活動の事前に，手紙やオンラインミーティングなどを使って交流する機会を繰り返し設定することで，互いの思いや願いなどの感情も含めた双方向でのやりとりができるようにしておく。

〇園所と事前に連携し，互いのねらいや目指す姿について共通理解を図っておく。また，学習の進捗状況について適宜報告し合い，必要に応じて内容を修正する。

4　坂中学校区として系統的に育成を目指す資質・能力の具体の姿

チャレンジする力 【挑戦】 【粘り強さ】 【解決力】	・課題や自分で決めたことに対して，最後までやってみようとしている。
◎表現する力 【自分】 【目的・相手・場面】 【工夫】	・自分の考えをもち，伝えることができる。
協力・貢献する力 【役割】 【感謝】 【行動力】	・学校や家庭の中での役割に気付き，行動しようとしている。 ・「ありがとう」が言える。

5　単元の目標

身近な秋の自然などを利用して園児と遊んだり伝え合ったりする活動を通して，遊びや遊びに使う物を工夫してつくることや，園児のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ，その面白さや自然の不思議さに気付いたり，園児と関わるよさや楽しさが分かったりするとともに，みんなと楽しみながら遊びを創り，進んで触れ合い交流しようとする。

6　単元の評価規準

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準		身近な秋の自然などを利用して園児と遊んだり伝え合ったりする活動を通して，その面白さや自然の不思議さに気付いたり，園児と関わるよさや楽しさが分かったりしている。	身近な秋の自然などを利用して園児と遊んだり伝え合ったりする活動を通して，遊びや遊びに使う物を工夫してつくったり，園児のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりしている。	身近な秋の自然などを利用して園児と遊んだり伝え合ったりする活動を通して，みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしていたり，進んで触れ合い交流しようとしたりしている。
小単元における評価規準	第一次	①遊びの楽しさや遊びを工夫したり遊びを創り出したりする面白さに気付いている。 ②自然の中のきまり，自然の事象の不思議さに気付いている。 ③約束やルールが大切なことやそれを守って遊ぶと楽しいことに気付いている。	①予想したり，確かめたり，見直したりしながら，遊びに使う物をつくったり遊んだりしている。 ②比べたり，試したり，見立てたりしながら，遊びを楽しんでいる。 ③遊びを工夫したり，友達と楽しく遊んだりしたことを振り返り，表現している。	①友達のよさを取り入れたり自分との違いを生かしたりして，遊びを楽しくしようとしている。 ②みんなで遊ぶと生活が楽しくなることを実感し，毎日の生活を豊かにしようとしている。
	第二次	④相手や目的に応じて，様々な伝え方があることに気付いている。 ⑤相手のことや相手が伝えたいと考えていることを理解できるよさや楽しさが分かっている。	④相手や目的に応じて，伝え方を選んでいる。 ⑤これまでの体験を基に，相手のことを思い浮かべながら，伝え方を工夫している。	③遊びの工夫を伝えたいという思いをもち，進んで触れ合い交流しようとしている。 ④相手の反応や状況に合わせて，多様な方法で伝えたいことや気持ちを表そうとしている。

7　他教科との関連

国語科	生活科	図画工作科
「しらせたいな　みせたいな」	「なつが　やってきた」 「たのしく　あそんじゃお」	「はこで　つくったよ」

８　指導と評価の計画（全 15 時間　本時 14／15 時間）

小単元名（時数）	時間	学習活動	評価規準	評価方法
「ぼく，わたしは，○○マイスター」（8時間）	1	・前単元で見付けた秋の自然物を使って，どんな遊びができそうか，どんな物がつくれそうかなど，簡単に試してみながら考える。 ・やってみたいことやつくりたい物を学級内で紹介し合い，友達と比べて考え，似ている友達とグループをつくる。	態①	・発言分析，　行動観察
	2・3・4	・グループに分かれ，遊びや遊びに使う物を工夫してつくる。 ・うまくいっていること，困っていることを紹介し合い，試行錯誤する。 ・活動を振り返り，気付いたことを整理してまとめる。	思① 思② 知①	・発言分析，　行動観察 ・発言分析，　行動観察 ・ワークシート分析，発言分析，行動観察
	5・6	・学級内で，遊び体験会をする。 ・体験の感想を紹介し合い，友達の視点も参考にしながら改善したり発展させたりするところをはっきりさせる。 ※ZOOM にて，遊びの様子を園児に紹介したり，どんな遊びがしたいか聞いいたりする。	知②	・ワークシート分析，発言分析，行動観察
	7・8	・改善したり発展したりする。また，それらの遊びで遊ぶ。 ・活動を振り返り，気付いたことを整理してまとめる。	知③ 思③ 態②	・ワークシート分析，発言分析，行動観察 ・ワークシート分析，発言分析，行動観察
「ねんちょうさんといっしょにみんなでたのしくあそぼう！」（7時間）	9・10	・園児と一緒に秋を見付けに行く。 ・園児の思いや願いを知る（一緒に遊びたい，作ってみたいなど）。	態③	・ワークシート分析，発言分析，行動観察
	11	・園児の思いや願いをかなえるための伝え方や方法を考える。	思④	・ワークシート分析，発言分析，行動観察
	12	・遊び方やルールの説明，遊ぶ物の作り方の説明などを準備する。	知④	・発言分析，　行動観察
	13・14	（本時 14 時間目） ・園児の思いや願いを聞き，園児と一緒に遊びを工夫したり，遊ぶ物をつくったりする。	態④ 思⑤	・ワークシート分析，発言分析，行動観察
	15	・これまでの活動全体を振り返り，頑張ったことやこれから取り組みたいことをまとめたり伝え合ったりする。	知⑤	・ワークシート分析，発言分析，行動観察

９　ルーブリック（評価基準）

	評価基準
Ⅲ	遊びのルールを変えたり，遊びが変わったりした時は，年長児に分かりやすく遊び方やつくり方を伝えることができる。
Ⅱ	遊びが伝わっていない時は，伝わる言葉に変えながら説明し，年長児に遊び方やつくり方を伝えることができる。
Ⅰ	自分たちで考えた方法で，遊び方やつくり方を年長児に伝えることができる。

10　本時の学習

（１）　本時の目標　園児と一緒に遊びを工夫したり，遊ぶ物を作ったりする活動において，相手のことを思い浮かべながら，伝え方を工夫することができる。

（２）　本時の展開

学びのサイクル	学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する児童への支援（◆）	評価規準 （評価方法）
導入	1 前時までの学習を振り返り，本時のめあてを確認する。	・インタビューをしたときの年長児との会話を掲示で示し，想起させることで，本時の活動の目的意識を高める。 ・前時までの学習を振り返り，活動の見通しをもたせる。	
	ふじぐみさんにたのしんでもらえるように，つたえかたをくふうしていっしょにあそぼう。		
		◆学習展開と「約束・ルール」を掲示して見せ，活動の見通しをもたせる。	
展開	2　交流会を行う。 （１）はじめに ・あいさつ ・やくそく，ルールの確認 ・せんせいのはなし	・一緒に楽しく遊べるように約束やルールを，1 年生が年長児に伝えておく。	
	（２）「なかよしタイム」の遊びを紹介する。 ①どんぐりごま②かざりけんだま③つり④楽器⑤秋の人形⑥ころがしめいろ⑦つえ⑧まといれ 児：私たちは〇〇グループです。おすすめポイントは〇〇です。ぜひきてください。	・1 グループ，1 分程度で端的に紹介させる。 ・モニターを使い，おすすめポイントを写真などで紹介できるようにする。	

	（3）「なかよしタイム」を行う。 ・年長児に声をかけ，遊びに誘う。 ・自分たちで考えた方法で，遊び方を説明する。 児：わたしたちは，画用紙に書いたものを読みながら説明するよ。 児：ぼくたちは，遊びを見せながら説明するよ。 ・遊びに使う物を変えてつくる。 年：ぼくは，まつぼっくりのこまをつくってみたいな。 児：一緒につくってみよう。小さめの松ぼっくりの方がよく回りそうだよ。 年：園で，枝や板を使って遊んだから，それも使いたいな。 児：板を使ってみよう。ボンドを使うとよく付くよ。 ・遊びやつくり方が上手く伝わらないときは，グループで修正する時間をとって考える。 児：僕たちは〇〇を作ったけど，活動が難しそうだな。つくりかたを変えてみてもいいかな。	・保育士と連携し，児童や園児の遊びを見ていく。 ・遊びの広がりが感じられそうなときや，双方が困っている様子が見られるときは，子供たちの話を聞きながら，個別に助言したり，支援したりする。 ・どんぐりや松ぼっくり，段ボール等の材料を用意しておき，遊びを深めたり広げたりできるようにする。 ・グループで相談したいことがある時は，相談タイムをとることを事前に伝えておく。	相手の反応や状況に合わせて，多様な方法で伝えたいことや気持ちを表そうとしている。 **（行動観察・発言分析）**
振り返り	4　振り返りをする。 （1）おわりに ・年長児の感想 ・1年生振り返り ・先生から	・活動の様子を撮った写真をモニターで示すことで，活動を振り返らせる。 ・園児の感想を聞き，楽しく活動ができたかを振り返らせる。 ・「一緒に楽しめたか」「伝え方の工夫はできたか。」の振り返りの視点を与える。 ・めあての達成に向けて伝え方をどのように工夫したかキーワードでまとめる。	

【振り返りの例】
・ふじ組さんが遊びやすいように，少し遊びを簡単にしたのがよかった。
・困っている子がいたから，途中で説明の言葉を変えると，困る子がいなくなった。
・途中から，新しい遊びもできて，それを一緒に考えながら遊べたのが楽しかった。

（３）　準備物

・自分たちで作ったおもちゃ，おもちゃを作るための道具，その他の素材や用具，机９つ

（４）　板書計画

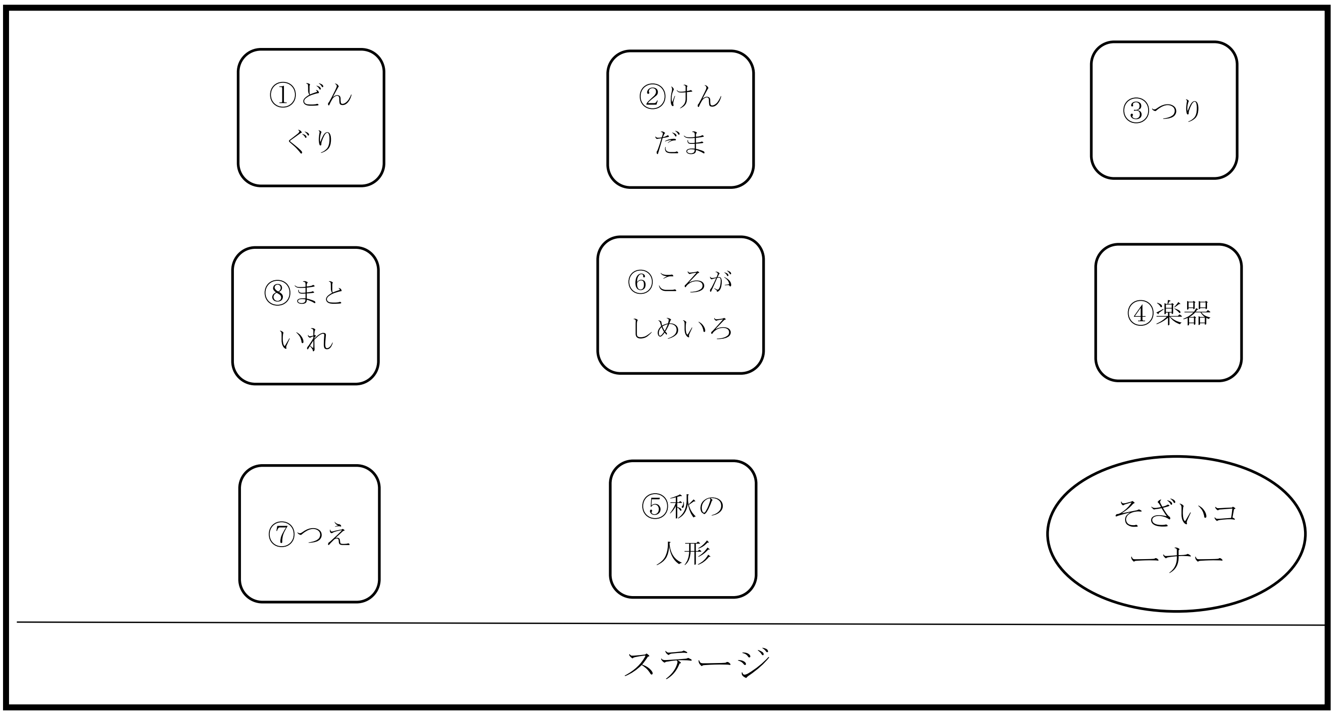
Ⓜ ふじぐみさんにたのしんでもらえるように，つたえかたをくふうしていっしょにあそぼう。

かつどうのながれ
１はじめに
２あそびタイム
３おわりに

やくそく・ルール
1
2
3

グループのおすすめポイント

①どんぐり　②けんだま
③つり　④楽器
⑤秋の人形　⑥ころがしめいろ
⑦つえ　⑧まといれ

ふ
・あそびをかんたんにした。
・こまっていた⇒ことばをかえた
・あたらしいあそび⇒いっしょにかんがえながらあそべた。

（５）会場図